

Viva Kango

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing



RCHOKKAIDO

学校法人 日本赤十字学園
日本赤十字北海道看護大学
編集・発行／広報委員会

〒090-0011 北海道北見市曙町 664 番地 1 TEL 0157(66)3311 FAX : 0157(61)3125
HP : <https://www.rchokkaido-cn.ac.jp/>



RCH Viva Kango
**令和5年度
入学式が挙行されました。**

令 和5年4月5日、日本赤十字北海道看護大学の令和5年度入学式が挙行され、看護学部看護学科学部生98名、大学院修士課程7名、博士課程1名が入学されました。

日本赤十字学園理事長、北見市長、日本赤十字社北海道支部長をはじめ、道内赤十字病院ならびに実習関連施設の先生方など多くの御来賓のご臨席をいただきました。昨年までは感染症対策として入学生のみ入場となっていた式に、たくさんのお入学生のご家族の皆さまもご臨席いただき、盛大に執り行うことができました。本年4月1日に本学学長に就任された安酸史子学長から式辞として、看護における看護職者と患者さんとの関係性、ケアシケアされることの大切さが伝えられました。このケアリングにつきましては、次ページの安酸学長のメッセージをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられ、学内の活動も感染症流行前に戻りつつあります。入学生の皆さまにおかれましては、様々な機会を通して本学での学びを深めるとともに、学生時代でしかできないことに取り組んでいただきたいと思います。サークル活動などを通じた交流は、皆様の将来の糧になります。皆さまに元気に活躍していただくために、私たち教職員も全力を挙げてサポートしてまいります。

新入生歓迎のご挨拶

新 入生の皆さん、入学まことに
おめでとうございます。
皆さんは、高校時代の大半を、コ
ロナ禍で過ごされ、授業やクラブ活
動もままならない状況だったと思い

ます。5月8日からは新型コロナウイルス感
染症が感染症法上の5類に位置付け
られますので、規制は緩みます。こ
れからは一人一人が自己責任で行動
しなければなりません。自由という
のは、自らを由とするということであ
ります。大学からの指示の範囲内ではあ
りますが、正しく恐れて、自由に行
動されることを期待しております。

日本赤十字北海道看護大学 学長

安酸 史子

さて、赤十字は人道の精神を
掲げています。看護師に最も必
要なものは、ケアリングマイン
ドだと考えています。看護理論
家であるジーン・ワトソンはケ
アリングの実践こそが、看護の
中心課題だと述べています。自
分の一挙手一投足に気を配り、
愛を注ぐことと意図しなければな
らない。そのためには、まず自
分を大切にし尊重することで、
相手を尊重し心から気遣えるよ
うになると述べています。

ケアしケアされる関係性を、
私は「ケアリング・サイクル」と
言っているのですが、将来的に
皆さんと患者さんとの間にケア
リング・サイクルが形成される
ためには、まずは我々教職員が
皆さんとの間にケアリング・サイ
クルを形成しなければならな
いと思っております。ヒューマン
ケアは、人と人との間においての
み磨かれます。大いに友と語り、
教職員とも交流してください。
そうした人とのかわりを通し
て、ヒューマン・ケアの学びを深
めてもらいたいと願っています。
皆さんは、日本赤十字北海道
看護大学生として新しいスター
トを切られます。看護大学生と
して、のびやかに学び、かけが
えない人たちと出会い、多く
の経験をする中で、新しい自
分と出会い、その中でしなやか
に成長されていくことを、心か
ら期待をしています。

1年次 担任のご挨拶

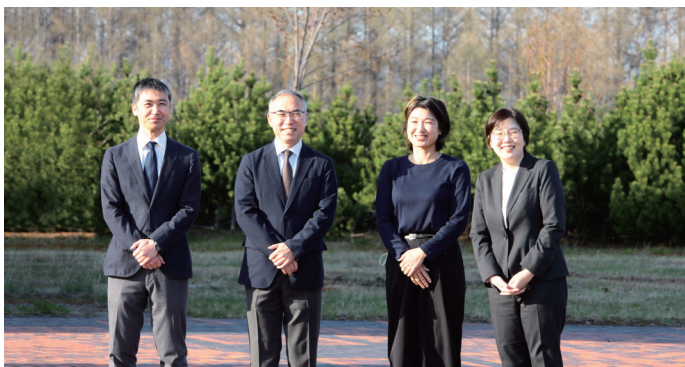
山本 憲志 教授
大学に入学し、新しい環境で、ま
だ落ち着かないと思います。さらに、
コロナ禍でもあり、ストレスも多い
と思います。それを助けてくれるの
は友人です。大学時代は一生付き合
える友人との出会いの時期です。恥
ずかしがらず、「迷った時には一歩
前へ」の気持ちで多くの良い友人を
積極的に作りましょう。そして、互
いに切磋琢磨し、良い医療従事者に
なれるように頑張りましょう！

吉田 理恵 准教授
ご入学おめでとうございます。こ
れから大学生活が始まり、社会人・
看護職者としての土台となる4年間
となります。自ら学び、考え、自ら
とじっくり向き合いながら、自らの
目標に向かってください。そのなか
では、人に助けを求められる強さを
持つことも大切になると思います。
いつでも相談してください。コロナ
禍に対応し高校時代を過ごされてき
た皆さんです、より一層成長される
ことを楽しみにしています。

村林 宏 准教授
1年生のみなさん、村林です。み
なさんは医療職者の卵として入学さ
れて、4年後には雛として卒業し巣
立っていくのです。そのためには多
くのことを学ぶ機会があります。簡
単なことばかりでもないし、時には
理不尽なことを経験することもあ

と思います。しかし、その経験はい
つか役立つことでしょう。一歩一歩
進んで悔いのない大学生活を続けて
くれることを望みますし、その手助
けをしていきたいと思っています。
全学生に幸あれ。

岡田 広子 助教
新入生の皆さま、保護者の皆さま、
ご入学おめでとうございます。4年
間で同じ看護師という目標を持つた
くさんの仲間を得て、一生の友人を
作ってもらいたいと思っております。
何か悩んだり、困ったりした時に、
同級生や先輩が力になってくれるこ
ともあるでしょう。それと同じよう
に担任も、見守り、サポートさせて
もらいたいと思います。いつでも声
をかけてください。



2 年次

担任のご挨拶

根本 昌宏 教授

3年間の長い時間を抜けて、いよいよサークル活動が再開されました。2年生の皆さんによつて様々なジャンルを復活させてください。新しいものを創られても良いと思います。顧問を含め、私たちもお手伝いいたします。大学生らしい楽しい時間を満喫しつつ、学びもしっかりと深めていただきたいと思います。

園田 裕子 准教授

2年生になると、看護のより専門的な授業が始まります。講義・演習・実習に休まずに参加することができるよう、日ごろからの「自己管理」が求められます。今一度、自分の生活を見直してみましょ。4名の担任はいつでも皆さんを見守っています。困ったときはいつでも声をかけてください。

種本 純一 講師

あつという間の1年が終り、大学生活も2年目に突入しました。大学生という時期は、皆さんの長い人生の中にあつても特別な時間であると思います。制限のない生活に戻るまではまだ時間がかかりますが、今の瞬間にしかできないことに全力で取り組んでほしいと思います。担任として応援させてもらいます！

須田 彩佳 講師

2年生になり、より専門的な科目が始まり、不安と期待の日々をお過ごしのことと思います。学業はもち

ろんですが、友人や先輩・後輩との交流も充実させた有意義な学生生活を過ごしてほしいと思っております。引き続き皆さんの学生生活をサポートしていきますので、うれしいときも、つらいときもお声かけください。



RCH Viva Kango

3 年次

担任のご挨拶

大倉 美鶴 教授

3年生の皆さん、こんにちは。いよいよ領域実習が始まりますね。実習は大変なこともあるかもしれませんが、臨床での実践力を磨く大事な機会でもあります。体調管理に気をつけ、前向きな姿勢で取り組んでください。もしも躓いた時は、いつでもご相談ください。担任として全力でサポートします。皆さんの成長した姿を見ることができると楽しみにしています。

相馬 深輝 准教授

3年生の皆様、ご進級おめでとうございます。今年度は領域別実習が

主となりますので、様々な対象者、医療職者との出会いの中で、多くの経験を積まれることと思います。その中で看護職の責務や魅力を感じ、実りある1年になることを願っております。担任として皆様の学生生活を精一杯サポートしたいと思いますので、何かできることがございましたら、いつでもお声かけください。

渡辺 美和 講師

本年度、3年生の担任となりました成人看護学慢性領域の渡辺美和です。3年生の皆さんは、本年度は主に領域実習となりますね。皆さんといっしょに実習に行き、様々な方々と新しく出会い、学びを深めていけることをとても楽しみにしています。教員としてはまだまだ未熟な私ではありますが、学生の皆さんと互いに支えあい、助け合いながら進んでいけたらと思っています。いつでもお声かけください。よろしくお願いたします。



正原 美穂 助教

3年生の皆さん、ご父兄の皆様、進

級おめでとございます。担任となりました地域・在宅看護学領域の正原です。領域別実習では、様々な経験や出会いを通して多くの学びがあると思えますが、求められる知識や技術、責任等も増え、悩むこともあると思います。皆さんには家族や友人等たくさんの支えがあると思いますが、その中の一員として、いつでも相談にきてください。皆さんがこの1年を乗り越えられるようサポートしていきますので、どうぞよろしくお願致します。

RCH Viva Kango

4 年次

担任のご挨拶

矢萩 悦啓 特任教授

3年間コロナで窮屈な学校生活を強いられました。そのような状況の中、見事4年生になられた皆さんの努力に敬意を表します。年度末には国家試験が待っています。「あきらめたらそこで試合終了」のスラムダンク精神で最後まで強い気持ちを持って試験勉強に取り組んでください。個人研究室(509)はエントロピー増大の法則を見事に体現しています。相談事がありましたららひるまず来てください。

新谷 純代 准教授

4年生の皆さん、進級おめでとうございます。領域別実習を経てたくましく成長した皆さんの姿を拝見し、大変頼もしく感じています。今年度は大学生活最後の1年となります。仲間同士励まし合いながら国家試験勉強に取り組むとともに、どうか充

実した毎日をお過ごしください。来年の春、皆さんが笑顔で卒業式を迎えることができるよう、我々も精一杯サポートしていきたいと思えます。

中西 真由美 准教授

4年生の皆さん、進級おめでとうございませう。あつという間に大学生活も4年目に突入したのではないでしうか。今年は大学の学びの総仕上げです。国家試験全員合格を目指して、どうか、悔いの残らないような充実した日々を過ごしてください。就職等も最大限、サポートしていきますので、一緒に頑張りましょ！まずは体調管理をよろしくお願いたします。

吉谷 優子 講師

昨年度はみなさんに、感染予防他で多大なご協力をいただきました。今年度は仕上げのいくつかの実習と国家試験対策、進路の準備など、一緒に取り組めたらと思えます。私自身のこと…保護猫三匹(黒・雉・八)飼っています。研究や地域での活動についても、聞いてくれたらうれしです。



学年表彰

受賞おめでとうございます。

(学籍番号順に掲載)



— 2年次 —

池田 知香さん
川邊 葉月さん
相馬 由菜さん
宮本 結菜さん

— 3年次 —

小野 丹楠さん
齋藤 あやさん
八巻 優月さん
湯浅 芹菜さん

— 4年次 —

安藤 あかりさん
小原 萌衣さん
谷 隆成さん
本谷 有彩さん



1 年間で振り返ると、初めて見る言葉や知識が多く、授業についていけないか不安でしたが、周りの友人とわからないところを教え合ったり、先生に質問しに行くことで、理解を深めることができました。後期には初めての実習がありました。前期で学習した内容を活かし、模索しながらも友人と励まし合い、自分ができる精一杯のことを行う事ができ、看護師の仕事がどういうものなのか肌で感じる事ができました。

2年次では、1年次に比べ、専門科目が増え、看護師の仕事に直結することも増えてきます。したがって、1年次で学習した内容を基に、2年次では1つ1つの授業を大事にしながらも、どのような看護を行ったらいいいのか、なぜこうなるのかを考えながら理解を深めていきたいです。そして、残りの3年間を通して、自身の看護観を見つけれられるよう頑張りたいです。

RCH Viva Kango

学年表彰 2年次 池田 知香



2 年次も友人やクラスメイトに助けられた1年でした。領域別に様々なことを学び、これまで学習してきたことを看護の展開にどのように繋げていくのかを考える機会が増えたり、実習や様々なグループワークなどを経験しました。そのような初めての経験をやる中で、時には思うように上手くいかないことや考えても分からないことも有りましたが、友人同士で悩みを打ち明けて共有しあったり、分からないことは教え合ったり、励まし合うことにより、成長することが出来たように感じています。2年次は人との繋がりの大切さをより実感しました。これから始まる領域別実習では、チームで行動することとなりますが、これまでのグループワークを通して学んだ、チームだからこそ出来ることや活かして支え合い、成長したいです。

RCH Viva Kango

学年表彰 3年次 小野 丹楠



3 年生を振り返ると「大きく成長できた年」であったと思う。実習では、様々な不安を抱えながらも仲間や教員、指導者さん、そして患者さんの存在があったからこそ乗り越えることができた。実習中は自身の未熟さを日々突きつけられ、挫けそうになったこともあった。しかし、考えて修正し、実践することを繰り返すうちに患者一人ひとりに大切な人生があることに気がつき、多様な価値観を学ぶことができた。1つの領域が終了することに成長を実感することができ、辛くもあったが、やりがいを感じることができた。この1年は私の人生にとって大きな試練であり大きな学びであった。メンタル面もとても鍛えられたため、今後も様々なことに勇気を出して挑戦し、成功も失敗も学びとして受け止めて、常に学ぼう人として人生を歩んでいきたい。

RCH Viva Kango

学年表彰 4年次 安藤 あかり